

紀水記

寛永十四年

春

和書門	
一五七八一號類	
青七九函	
四冊架	

内閣文庫	
五七八一號類	和書
四冊架	
五函	

内閣文庫	
番號和	15781
冊數	4 ( 1 )
函號	151 118

記録十四三





寛永十四丁丑年

正月大朔日



大樹家光公御表の御方の御用所

尾張大納言弟忠人の書付御用所

殿付大納言録付御用所

尾別殿御用所

島辺下其書付御用所

直取御用所

記録御用所

浅草文庫







二月二日

一 日記 本朝の表は 神法に依りて 乃ち儀禮

切なる戸教也 故神祇の儀も 重

尾張教は 迄し其の心は 乃ち乃ち教の

成 一 祓の儀も 重なるが如し 及坐

至信の儀尾の教は 乃ち乃ちの儀成 一 祓の

其の心は 乃ち乃ちの儀成 乃ち乃ちの教

と云ふは 乃ち乃ちの儀成 乃ち乃ちの教

先 乃ち乃ちの儀成 乃ち乃ちの教 進上り 乃ち乃ちの儀  
乃ち乃ちの儀成 乃ち乃ちの教 進上り 乃ち乃ちの儀  
乃ち乃ちの儀成 乃ち乃ちの教 進上り 乃ち乃ちの儀

一 乃ち乃ちの儀成 乃ち乃ちの教

乃ち乃ちの儀成 乃ち乃ちの教

乃ち乃ちの儀成 乃ち乃ちの教

乃ち乃ちの儀成 乃ち乃ちの教

乃ち乃ちの儀成 乃ち乃ちの教



抄本

行

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

三月

一 <sup>日記</sup> 大樹の田法馬 巨物 常の事

一 市穀の事 國 物 店 多 糶 還 所

一 為 市 様 堀 内 浪 尾 村 及 山 中 市 記 浪 名 所 集 録

一 平 集 事 指 上 事 糶 糶 事 乃 對 面 市 記 糶 所

一 志 摩 郡 事 記 糶 糶 事 乃 對 面 市 記 糶 所

長 年 糶 糶 事 乃 對 面 市 記 糶 所  
七 月 廿 八 日 糶 糶 事 乃 對 面 市 記 糶 所















三月十日

一 大樹のこぼり木

一 尾羽の友家屋の市町の友家屋の友家屋の友家屋

一

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大樹のこぼり木

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大樹のこぼり木のこぼり木のこぼり木のこぼり木

大











三月十七日

一 古樹紅葉心 遠くはるかに 長秋の光

一 青い鳥の音 夕陽の影

一 明日は 晴れ渡る空に

一 春の気配 遠くはるかに 長秋の光

三月十八日

一 古樹紅葉心 遠くはるかに 長秋の光

一 春の気配 遠くはるかに 長秋の光

一 仰角、舟尾州後より夜半

一 初瀬二瀬、又分岐二瀬、道







三月廿一日

一 大樹南宮様様造り為し給へ油の右様後

目常陸守及 目尾尾守及也 成之守討

顔の退虫

一日 あり成之守討とて様守とて守守及也

三月廿一日 聞之守討とて守守及也

三月廿一日

一 大樹少 御前御守の右様後何れ守及也

守及也 守及也 守及也 守及也

守及也 守及也







一 片

一 位局 紅美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系

一 片 局 紅 美 中 文 漢 西 ... 勅 筆 の 庸 凡 一 六 者 科 白 紙 本 系



白紙に書く 五拾二

白紙に書く

の日記

一 本樹の山何年かの月縁延尾の及の及

辰中討登 城

一 晩刻の月清江梅延尾の及の及 清中登物

水戸及より上巻に於て五拾二

白紙に書く

水戸記

一 本樹の山何年かの月縁延尾の及の及

水 城



三回書

一 大樹の今

三回書

三回書

三回書

一 大樹の今

三回書

一 大樹の今

三回書

三回書







二月二日

一 古樹の南の方の何處迄尾の方より

山の方より

一 今晩の何處迄尾の方より山の方

の方より

山の方

二月二日

二月二日

一 古樹の南の方の何處迄尾の方より

山の方より

一 今晩の何處迄尾の方より山の方

の方より

山の方

二月二日







二月七日

一 寺島ノ樹

一 寺島ノ樹 尾花友ノカク出

一 寺島ノ樹 尾花友ノカク出

一 寺島ノ樹 尾花友ノカク出

110545

二月十日

一 寺島ノ樹

一 寺島ノ樹 尾花友ノカク出

寺島ノ樹

一 寺島ノ樹 尾花友ノカク出

寺島ノ樹 尾花友ノカク出

寺島ノ樹



Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text in the upper middle section of the right page.

二月日

Handwritten text line on the right page.

Handwritten text line on the right page.

一日 昨夜清以矣多授了 亦乃月津城邊長也

尾州及小戸夜堂 城

一長射 是夜九日 善信之 謝物より 亦物也

乃夜候様は 女御と 相子 長成より 三程

乃夜候様は

Handwritten text line on the left page.

Handwritten text line on the left page.

Handwritten text line on the left page.

二月日

Handwritten text line on the left page.

Handwritten text line on the left page.







二月十一日

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 胡内河橋通尾村より

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄

一 日記  
一 古橋より今迄迄







一日 昨夜は冷たき為程に身を冷やせし故に尾州友

の戸友已別也 哉

一日 尾州友の戸友已上夜に冷やせし故に

の戸友已別也 哉

二月七日

一日 昨夜は冷たき為程に身を冷やせし故に尾州友

の戸友已別也 哉

一日 昨夜は冷たき為程に身を冷やせし故に尾州友

の戸友已別也 哉

一日 昨夜は冷たき為程に身を冷やせし故に尾州友

の戸友已別也 哉

一日 昨夜は冷たき為程に身を冷やせし故に尾州友



二月廿七

一 のり 大橋は平安

一 のり 大橋は橋尾州友より河野國よりあるなり

一 館蔵款は橋上より河内律より對面

一 のり 晩刻は河内橋尾州友より山上市より

一 及より尾橋より橋上より河内律より對面

二月廿七

一 のり 大橋は橋尾州友より河内律より對面

一 のり 大橋は橋尾州友より河内律より對面

一 館蔵款は橋上より河内律より對面

一 のり 晩刻は河内橋尾州友より山上市より對面



白紙の元多移上河部集後を對面

一 紅葉山 河部系子... 紅葉山の名

代尾州友... 中山市

...

...

...

...

...

二月十日

一 古樹... 安

一 月... 尾州友... 安

...

...

...

...

二月九日

一 古樹... 安



一日 昨夜清海寺の坊主尾州友の戸友宅

城を中へはるる退か

一日 尾州友の戸友宅へ上付技術一帯先を

かたはあつたが部員と格と

一日 尾州友の戸友宅より山口市との方より

山道に於て格と村越士格との対面

一日 尾州友の戸友宅より山口市との方より

一日 尾州友の戸友宅より山口市との方より

手記

一日 尾州友の戸友宅より山口市との方より

一日 昨夜尾州友の戸友宅より山口市との方より

一日 城を中へはるる退か

一日 尾州友の戸友宅より山口市との方より

一日 尾州友の戸友宅より山口市との方より



二月廿一日

一 古樹 例年安

一 法藏 通同及後友より 山形 河内 山形 友より

一 山形 通同及後友より 山形 河内 山形 友より

一 晩刻 山形 河内 山形 友より 山形 河内 山形 友より

より 山形 河内 山形 友より 山形 河内 山形 友より

一 山形 河内 山形 友より 山形 河内 山形 友より

二月廿一日

一 古樹 例年安

一 山形 河内 山形 友より 山形 河内 山形 友より

一 山形 河内 山形 友より 山形 河内 山形 友より

一 晩刻 山形 河内 山形 友より 山形 河内 山形 友より



一 白鳥尾元多指の河原野馬の對面

一 白鳥尾元多指の河原野馬の對面

二 國書

一 古書

一 尾州友の片皮を指し  
成るはしる

一 晩方尾州友の片皮を指し

より尾州友の片皮を指し

一 尾州友の片皮を指し

二 國書

一 古書

一 尾州友の片皮を指し



一日 坊主のふりかへ尾村友のり 感懐集のふり

戸友の中山市に 〆

一日 〆尾村友のり中山市に 〆戸友のり

〆尾村友のり中山市に 〆戸友のり

〆尾村友のり中山市に 〆戸友のり

〆尾村友のり中山市に 〆戸友のり

一日 〆尾村友のり中山市に 〆戸友のり

〆尾村友のり中山市に 〆戸友のり

一日 〆尾村友のり中山市に 〆戸友のり

〆尾村友のり中山市に 〆戸友のり

〆尾村友のり中山市に 〆戸友のり



二日書

一日 古樹昨夜清風之吹るるを聞て傳  
尾村友一 殿前之志 水戸友一 中野市迄

持上

一日 晩時清風煙月尾村友一 中野市迄

尾村友一 殿前之志 水戸友一 中野市迄

一日 尾村友一 殿前之志 水戸友一 中野市迄

一日 尾村友一 殿前之志 水戸友一 中野市迄

二日書

一日 古樹昨夜清風之吹るるを聞て傳

尾村友一 殿前之志 水戸友一 中野市迄

持上

一日 晩時清風煙月尾村友一 中野市迄

尾村友一 殿前之志 水戸友一 中野市迄



二日廿九

二月廿八

水戸記  
大徳寺平安

一 晩封の月夜様海尾州友の山平の友

一 白根の流の友の山平の友

二日廿九

一 白根の流の友の山平の友

二日廿九

一 大徳寺の平安

一 白根の流の友の山平の友

一 小徳寺の平安

一 晩封の月夜様海尾州友の山平の友

一 白根の流の友の山平の友







1. D...  
2. ...  
3. ...  
4. ...  
5. ...  
6. ...  
7. ...  
8. ...  
9. ...  
10. ...

一 古...  
二 ...  
三 ...  
四 ...  
五 ...  
六 ...  
七 ...  
八 ...  
九 ...  
十 ...

三月 朔日

一 古...  
二 ...

一 古...  
二 ...

三月 朔日

一 古...  
二 ...



一日 倉石河橋嫌已討尾州及分取新田より及  
より山登り自給 杉子と新田より對面

三回川口 新田より及分取新田より及

一 大樹法平安

一日 乃上邑法法儀尾州及分取新田より及

一 城

一日 晚州乃乃河橋嫌尾州及分取新田より及

相取より及分取新田より及分取新田より及

三回

一 大樹法平安



一月 一 為國之棟樑尾州友の心経内水戸友より  
 山登る所節 多指上中友右原進對面恨事

三月廿日 三月廿日 三月廿日 三月廿日  
 一月 一 大樹清乎安  
 一月 一 為何所感婦尾州友の阿部清乎の友より

一月 一 山登る所節 多指上中友右原進對面  
 一月 一 晚刻為何所感婦尾州友の阿部清乎の友より  
 一月 一 為何所感婦尾州友の阿部清乎の友より

紀年録  
 此夜於西九姬君御誕生後辨子 臍菟乃者井伊掃部頭直孝献之墓目者  
 石川主殿頭忠總勤之 左取者重子上野公身 水戸紀元三月廿日

三月廿日 三月廿日 三月廿日 三月廿日  
 一月 一 大樹清乎安



同日  
一 姫君の御上之色法に祝儀尾州友公雛十封  
子園芳より心女儀多指下

三月七日

一 大樹の平安  
一 巳刻の何は様嬢尾州友より御賀申度

一 山崎の御賀  
一 松平の御賀  
一 尾上唯今侍の御賀

三月八日  
一 大樹の平安



二 森のむらさき...  
三月十日

三月九日

二 大樹清し平安

一 月 内 櫛 櫛 尾 別 友 合 野 野 野 水 之 友 山 道

内 櫛 櫛 尾 別 友 合 野 野 野 水 之 友 山 道

二

三月十日

一 大樹清し平安

一 月 内 櫛 櫛 尾 別 友 合 野 野 野 水 之 友 山 道

内 櫛 櫛 尾 別 友 合 野 野 野 水 之 友 山 道

三月十日

三月十日



定案備考  
中多上森三純日列田利の紅布と死

三月十一日

一 古儀の安（一）

一 古儀の安（一）  
一 古儀の安（一）  
一 古儀の安（一）  
一 古儀の安（一）

三月十一日

一 古儀の安（一）

一 古儀の安（一）  
一 古儀の安（一）  
一 古儀の安（一）

一 古儀の安（一）

三月十一日

三月十一日



三回十口

三回十口

三回十口

三回十口

三回十口

三回十口

一 三回十口

三回十口

三回十口

三回十口

三回十口

一 三回十口

三回十口



日記  
一 大橋はりの河内国より 成りきりて鴨島に

三月十九日

日記  
一 大橋清りて安

一日 巴川の河内国尾州友の陣羽織の安

より山笠の安 多指の安 安有市気進對面

三月廿日

日記  
一 大橋清りて安

日記  
一 大橋清りて安 川口村に



三月廿日

一 大樹之田多記成ノ出ノ酒井澤下

厚浦之成

三月廿日

一 大樹麻布為成

三月廿日

一 大樹多記津手安

一 子刻田斐庄喜者乃所小東尾者至務

好積之田







一日 大樹晚射水戸及上屋浦前山石成  
寺尊好多拉丈八信通院本寺通

還所

三月廿七日

一 大樹清子安

一日 尾州友水戸友西尾山成

一日 晚射为国清様尾州友八山市正水戸友  
胡塔宗中馬多拍上石谷平院射由

一 大樹清子安







Faint vertical text on the right side of the left page, possibly bleed-through or light writing.

清及少對讀

一 日 清及少對讀

閏三月小節日

一 大橋少之河津

一 當日... 清及少對讀

一 或... 清及少對讀

一 清及少對讀

一 晚射... 清及少對讀

一 相... 清及少對讀

清及少對讀



閏三月十日

一 大橋のついで

一 同日清橋尾別々の戸屋登 城守

蓬良 一 戸屋登

一 同日清橋尾別々の戸屋登

一 大橋のついで

閏三月十日

閏三月十日

一 大橋のついで

一 同日清橋尾別々の戸屋登 城守

市屋良

閏三月十日



一 大樽あしの清きよみ

一月 大樽の清み尾の友の戸友也 成なり

清運きよん

一 大樽の清み

一月 大樽の清み尾の友の戸友也 成なり

清運きよん

一月 大樽の清み

大樽あし

一月 大樽の清み

一月 大樽の清み



市事事務及常陸守友方へ送る也

城守へ送る也

二五系備考 四三作  
一 丹波守へ送る也 辛 信長之記

閏三月七日

一 大樹へ送る也

一 丹波守へ送る也 尾州友方へ送る也 城守へ

送る也

閏二月八日

一 大樹へ送る也

一 丹波守へ送る也 尾州友方へ送る也 城守へ

送る也



閏三月九日

一 大樹少く清く

一 為月法以穢嫌尾羽友の戸を也 穢

中 運退

閏三月十日

一 大樹少く清く

一 為月法以穢嫌尾羽友の戸を也 穢

中 運退







手三巻 (成) 成

一 成

一 成

一 成

一 成

一 成

一 成

一 成

成

一 成

一 成

一 成

成



一月 被之尾堀田の別荘より夕方に退きし

一 被之尾堀田の別荘より夕方に退きし  
一 被之尾堀田の別荘より夕方に退きし  
一 被之尾堀田の別荘より夕方に退きし

閏三月十七日

一 大樽の清り

一 大樽の清り  
一 大樽の清り  
一 大樽の清り

閏三月十七日

一 大樽の清り

一 紅葉のなる夜代酒井藩の系上

一 紅葉のなる夜代酒井藩の系上  
一 紅葉のなる夜代酒井藩の系上

一 紅葉のなる夜代酒井藩の系上  
一 紅葉のなる夜代酒井藩の系上

一 紅葉のなる夜代酒井藩の系上  
一 紅葉のなる夜代酒井藩の系上

一 紅葉のなる夜代酒井藩の系上  
一 紅葉のなる夜代酒井藩の系上



成

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



城之内へ書長

五月三

城之内へ書長  
五月三

五月廿

一 大橋半刻迄 田舎へ行く

一月 大橋半刻迄 田舎へ行く

城之内へ書長

五月廿

一 大橋半刻迄 田舎へ行く

一月 大橋半刻迄 田舎へ行く

城



一 二月廿二日

一 大樹寺に安

一 二月廿三日 大樹寺に安

一 大樹寺に安

一 二月廿四日

一 大樹寺に安

一 二月廿五日 大樹寺に安

一 大樹寺に安

一 大樹寺に安

一 大樹寺に安



のり記  
一 大樹の平安

一日 増上寺、為 寺名、寺井大龍院系上

一日 増上寺、寺井系上、寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上

一日 為 寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上

山形、寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上

對面

一 遠國、寺名、寺井大龍院系上

二 寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上

寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上

寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上

寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上

寺名、寺井大龍院系上、寺名、寺井大龍院系上



一 日 山良子年久の事

仰承之

御承之

御承之

御承之

御承之

一 大徳寺の事

一 大徳寺の事

申上建良

申上建良

一 大徳寺の事

一 大徳寺の事

山良子年久の事





閏三月廿八日

のり

一 大樹清江安

一 乃皆中一清江塚尾村友のり安也

一 林部中一清江塚

一 日 今度は終り多様 姫居

一 大樹中一好一清江塚

閏三月廿七日

一 大樹清江安

一 乃皆中一清江塚尾村友のり安也 塚部中

一 大樹清江安







